



## 首都圏・東北地域での誘客プロモーション事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	直営、委託、補助金											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 9 北陸新幹線効果を最大化・持続化 ]				関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題] R6「地域ブランド調査」による本県の魅力度は全国31位と下位に位置している。そのため、北陸新幹線開業後も首都圏・東北地域においてPR活動やイベント等を実施し、本県の魅力を発信する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 全国魅力度ランキング(福井県の順位) 38位(R5)、31位(R6)						
[事業目的] 北陸新幹線の開業効果を最大化・持続化させるため、始発駅となる東京駅を中心に沿線駅等で、PR活動やイベントなど連続的なプロモーションを行い、本県への誘客拡大を図る。												
[事業内容] (1)首都圏・東北地域での出向宣伝事業 ・北陸新幹線沿線のJR主要駅(東京駅、大宮駅)や福井ゆかりの地(神楽坂)で出向宣伝等のプロモーション活動の実施 ・東北地域のJR主要駅(仙台駅)で出向宣伝の実施 ・首都圏のJR主要駅にポスターを掲出(年4回、約110駅・170枚を各1週間掲出)  (2)福井トリップナビゲーター育成事業 ・駅たびコンシェルジュにて、お客さまに観光地や旅行をご案内するスタッフ向けに、福井県の優れた観光地や伝統等のオンライン勉強会、現地研修の実施 ・駅たびコンシェルジュスタッフが監修するガイドブックの制作、福井県旅行相談会の実施												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4,657事業所(R3 経済センサスー活動調査)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 北陸新幹線福井・敦賀開業首都圏プロモーション事業 事業名 東北地域誘客プロモーション事業 (実績) ・東京駅、大宮駅、長野駅、高崎駅等での出向宣伝の実施 ・盛岡駅、仙台駅、福島駅での出向宣伝の実施 ・駅たびコンシェルジュスタッフ向け勉強会、現地研修会の実施				関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・出向宣伝において、市町ブースを設置し市町職員によるプロモーションを実施				他県の状況							

## 首都圏・東北地域での誘客プロモーション事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体		県、(公社)福井県観光連盟			事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	直営、委託、補助金											
補助率	10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	75,755					75,755						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			103,962	119,157	71,607	75,755	・長野駅出向宣伝の終了 ・高崎駅出向宣伝の終了					
2月現計予算額の推移			103,962	119,157	71,607							
決算額の推移			97,455	118,167								
前年度までの 主な増減理由		・デジタルサイネージ広告、ポスター等の事業終了 ・上野駅出向宣伝の終了										
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年) (目標) 実績	12,356	15,191	17,598	(20,000)	(20,000)		(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26～R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6) 令和7年目標値 新観光ビジョンの目標値による			
活動指標	北陸新幹線沿線および東 北地域での出向宣伝回数 (目標) 実績	(2)	(4)	(5)	(7)	(3)						
			4	5	7							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
<事業実績> 5月 長野駅出向宣伝 6月 高崎駅出向宣伝 9月 東京駅出向宣伝 10月 仙台駅出向宣伝、 11月 大宮駅出向宣伝、盛岡駅出向宣伝、福島駅出向宣伝				・北陸新幹線沿線のJR主要駅である東京駅、大宮駅での出向 宣伝を引き続き実施 ・長野駅、高崎駅出向宣伝の終了 ・東北地域の主要駅である仙台駅での出向宣伝の実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		



## 中部縦貫自動車道開通に向けた中京圏誘客プロモーション事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄		
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営、委託、負担金、補助金												
補助率	10/10												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	63,640	31,820			31,820	新しい地方経済・生活環境創生交付金第2世代交付金							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移							63,640						
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)☒	(目標) 実績	12,356	15,191	17,598	(20,000)	(20,000)		(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2~R6) 令和7年目標値 新観光ビジョンの目標値による			
活動指標	出向宣伝実施箇所数	(目標) 実績					(5)						
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## 大阪・関西万博を契機とした誘客プロモーション事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	山田 輝雄
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 9 北陸新幹線効果を最大化・持続化 ]				関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題] R6「地域ブランド調査」による本県の魅力度は全国31位と下位に位置している。そのため、大阪・関西万博を契機に、関西圏等に向けて本県の魅力を強力に発信する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 全国魅力度ランキング(福井県の順位) 38位(R5)、31位(R6)						
[事業目的] 大阪・関西万博を契機にプラスワントリップの旅行先として、福井の魅力を強力に発信し、本県へのさらなる誘客促進等を図る。												
[事業内容] (1)万博プラスワントリップキャンペーン ・大阪・関西万博開催期間中における本県情報の発信  (2)JR大阪駅・京都駅構内を使った広告掲出、JR京都駅出向宣伝 ・JR大阪駅・京都駅構内等での広告およびイベントの実施  (3)福井の観光動画配信事業 ・YouTubeを活用した観光動画の配信												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4,657事業所(R3 経済センサスー活動調査)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 関西・中京圏からの誘客事業 (実績) ・JR大阪駅・京都駅等の駅構内における広告掲出 ・JR京都駅での出向宣伝の実施					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 北陸新幹線早期全線開業PR事業 (役割分担) 事業が重複しないよう、一部イベント・広告については、上記事業予算により実施					
市町との連携状況						他県の状況						

## 大阪・関西万博を契機とした誘客プロモーション事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	委託												
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	45,937	22,968			22,969	新しい地方経済・生活環境創生交付金第2世代交付金							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移							45,937						
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	12,356	15,191	17,598	(20,000)	(20,000)		(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26～R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6) 令和7年目標値 新観光ビジョンの目標値による			
活動指標	広告掲出駅数	(目標) 実績							(2)	JR大阪駅・JR京都駅			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点					事業評価			
										□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額
										□ 継続	□ 休止	□ 完了	
										□ 整理統合	□ 廃止	□ その他	

# メディアプロモーション事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自 治 事 務  □ 法 定 受 託 事 務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 9 北陸新幹線効果を最大化・持続化 ]				関連する県の計画等	[ ふくい観光ビジョン ]						
[解決すべき問題・課題] R6「地域ブランド調査」による本県の魅力度は全国31位と下位に位置している。そのため、首都圏、関西圏、中京圏のメディアを活用し、本県の魅力ある情報を発信していく必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 全国魅力度ランキング(福井県の順位) 38位(R5)、31位(R6)						
[事業目的] 本県が誇る「本物」の情報をメディアが利用しやすい形で提供することにより、首都圏および関西圏、中京圏メディアの取材を誘致し、本県情報の露出拡大を図る。												
[事業内容] (1)メディアへのパブリシティ活動 ・メディア(テレビ、新聞、雑誌、WEB等)に本県の観光、物産、文化、食材等の交流拡大にかかる情報が取り上げられるようパブリシティ活動を実施。 ・PRワイヤーの作成、配信 ・メディアへのPR活動 ・モニター調査、露出調査 ・メディアミーティングの開催  (2)メディアに対する取材招致活動 ・メディアの取材招致(取材コーディネート、助成金等)												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4,657事業所(R3 経済センサスー活動調査)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

# メディアプロモーション事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	委託													
補助率	-													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	46,797				46,797									
[予算額の推移等]												(単位:千円)		
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			37,840	39,700	39,700	36,840	46,797	・関西・中京圏のメディア訪問の追加						
2月現計予算額の推移			34,745	39,700	39,700	36,840								
決算額の推移			34,745	35,615	39,698									
前年度までの 主な増減理由		・首都圏におけるミステリアスニュースの掲出終了のため減額												
[成果指標等の推移]														
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)☒	(目標) 実績	12,356	15,191	17,598	(20,000)	(20,000)		(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2~R6) 令和7年目標値 新観光ビジョンの目標値による				
活動指標	取材招致件数	(目標) 実績	(24) 33	(24) 35	(24) 70	(24) 64	(24)			令和6年度実績は1月末時点				
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
令和6年度メディア露出件数(1月末時点) テレビ:22件 新聞雑誌:11件 WEB:811件 計844件				・関西圏、中京圏のメディア訪問に対する予算の追加				■ 拡充		□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
								□ 継続		□ 休止	□ 完了			
								□ 整理統合		□ 廃止	□ その他			

## 福井を学ぶ体験旅行推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業	課長名	山田 輝雄	
事業主体		県、(公社)福井県観光連盟、市町			事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 16 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	直営、補助金											
補助率	10/10、1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 9 北陸新幹線効果を最大化・持続化 ]			関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題] 教育旅行の県内受け入れ拡大を図るため、旅行会社・教育関係機関への営業強化や受け入れ体制の充実により本県の魅力を発信をする必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 全国魅力度ランキング(福井県の順位) 38位(R5)、31位(R6)						
[事業目的] 中部縦貫自動車道県内全線開通を見据え、教育旅行の県内受け入れ体制の充実と県外学生等の合宿の誘致拡大を図る。												
[事業内容] (1)教育旅行誘致の推進 ・旅行会社・学校等への営業訪問 ・教育関係者・旅行会社の本県への視察招聘、商談会開催(関東・中京圏・関西圏) ・首都圏で修学旅行のシェアが高い大手旅行会社および学校の福井県での研修に対して助成 最大25,000円/人 ・恐竜化石発掘や越前和紙の紙漉きなど体験にかかる費用の一部を学校に助成 1,000円/人・泊 ・修学旅行で本県に送客した旅行会社に対して、送客手数料として助成 500円/人・泊 ・県内事業者受入体制強化研修  (2)合宿誘致の推進 ・合宿誘致に向けたパンフレット作成、学生等の合宿にかかる宿泊料等の助成に対する支援 事業主体: 市町 助成額 : 宿泊費 500円/人泊 特別加算 500円/人泊 地域交流費 250円/人 補助率 : 宿泊費 県1/2(市町1/2) 特別加算 県10/10 地域交流費 県10/10												
[受益者] 県外から福井県への教育旅行者						[想定される受益者数] 128,039人(R5)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

# 福井を学ぶ体験旅行推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟、市町				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H22 年度 経過年数 16 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R9 年度
事業実施方法	直営、補助金											
補助率	10/10、1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	60,976				60,976							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		41,484	38,884	42,464	62,658	60,976	・学生等の合宿見込み数による減額					
2月現計予算額の推移		15,751	20,010	66,687	50,139							
決算額の推移		12,766	16,872	35,867								
前年度までの 主な増減理由	・体験料助成を申請数増加のため増額											
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	県外からの教育旅行者数 (人)	(100,000) 実績 102,230	(100,000) 127,732	(100,000) 128,039	(100,000)	(100,000)	(100,000)	(100,000)				
活動指標	合宿助成制度実施市町数 (市町)	(17) 実績 15	(17) 15	(17) 15	(17) 16	(17)	(17)	(17)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
R5年度 事業実績 ・教育旅行視察・研修助成実績 受入2社 21人 ・学旅行体験料助成、旅行会社送客手数料助成実績 受入17校 2,395人(3,719人泊) ・合宿誘致補助実績 宿泊人数:25,772人泊 地域交流回数:6,948回				・学生等の合宿見込み数による減額				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 教育旅行民泊受入体制強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業	課長名	山田 輝雄	
事業主体	(公社)福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助金											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 9 北陸新幹線効果を最大化・持続化 ]				関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題] R6「地域ブランド調査」による本県の魅力度は全国31位と下位に位置している。 中部縦貫自動車道県内全線開通に向け、本県の魅力を強力に発信し、さらなる誘 客促進等を図る。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 全国魅力度ランキング(福井県の順位) 38位(R5)、31位(R6)						
[事業目的] 教育旅行において需要が増加している嶺北の民泊を整備していくことにより、本県への教育旅行のさらなる誘致を図る。												
[事業内容] ○(一社)福井県旅行業協会を窓口とした嶺北における民泊誘致の推進 ・民泊受入家庭への個別訪問(打合せ)、研修会の開催 ・修学旅行生受入れ時のマニュアルの更新 ・旅行会社に対する提案資料の更新、充実 ・旅行会社からの予約対応(各家庭への連絡調整)、下見時等のサポート ・専用ホームページの開設、更新												
[受益者] 県外から福井県への教育旅行者						[想定される受益者数] 128,039人(R5)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 教育旅行民泊受入体制強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業	課長名	山田 輝雄	
事業主体	(公社)福井県観光連盟				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	補助金											
補助率	10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	7,641				7,641							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			4,808	5,027	7,641	・人件費の増加による増額						
2月現計予算額の推移			4,808	5,027								
決算額の推移			4,770									
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	県外からの教育旅行者数 (人)	(目標) (100,000) (実績) 102,230	(100,000) 127,732	(100,000) 128,039	(100,000)	(100,000)	(100,000)	(100,000)				
活動指標	嶺北での民泊最大受入人数(人)	(目標)		(210) 230	(260) 246	(310)						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
<事業実績> ・民泊のワンストップ窓口の設置 ・教育旅行商談会への参加 ・先進地視察研修 ・旅行会社に対する提案資料の作成 ・専用ホームページの更新				・人件費の増加による増額				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								■ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

## 持続可能な「稼ぐ観光バスツアー」支援事業

区分	継続	経費区分	交流文化部	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業	課長名	山田 輝雄	
事業主体	(公社)福井県観光連盟				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助金											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 9 北陸新幹線効果を最大化・持続化 ]				関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題] 本県への観光客入込数と観光消費額を増加させるため、本県への観光旅行商品を企画する旅行会社に対し支援を行い、全国各地から新たな観光ツアーを誘引する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和5年 福井県観光客入込数 17,598千人 観光消費額 1,225億円						
[事業目的] 本県への観光旅行商品を企画する旅行会社に対し支援を行うことにより、新たな観光客の誘引を進め、加えて一年を通じた誘客促進や観光消費額の拡大を図る。												
[事業内容] ○本県に宿泊し、かつ一定額の消費行動を行う貸切バスツアーを企画する旅行会社に対する支援  補助額 25,000円/台・泊(4月～11月、3月) 30,000円/台・泊(12月～2月)  補助条件 ・貸切バスを利用して他都道府県民が福井県内を観光する10名以上の旅行商品 ・福井県内に1泊以上 ・福井県内の観光地を1泊につき2カ所以上訪問 ・福井県内の食事施設または土産物施設を1泊につき1箇所以上訪問かつ、1泊につき1箇所以上の施設で参加者1人あたり1,500円(税込)以上の消費												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 事業所数:4,657(R3経済センサス)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 持続可能な「稼ぐ観光バスツアー」支援事業

区分	継続	経費区分	交流文化部	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業	課長名	山田 輝雄	
事業主体	(公社)福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助金											
補助率	10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	5,400				5,400							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移					4,000	5,400	5,400					
2月現計予算額の推移					4,000	5,400						
決算額の推移					3,875							
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	県内延べ宿泊者数 (万人)	(目標) 実績			(510) 295	(510)	(510)	(510)		令和7年目標値 510万人(ふくい観光ビジョン)		
活動指標	支援台数	(目標) 実績			(150) 148	(150) 142	(150)	(150)		3~11月 100台、12~2月 50台		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価			
・事業実績 旅行会社:75社 助成件数:112件 送客人数:3,271人(3,331人泊) バス台数:128台									<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
									<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## コンベンション誘致促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	(公社)福井県観光連盟				事務 区 分	■ 自 治 事 務  □ 法 定 受 託 事 務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開 始 年 度	R2 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助金											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 9 北陸新幹線効果を最大化・持続化 ]				関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題] R6「地域ブランド調査」による本県の魅力度は全国31位と下位に位置している。 中部縦貫自動車道県内全線開通に向け、本県の魅力を強力に発信し、さらなる誘客 促進等を図る。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 全国魅力度ランキング(福井県の順位) 38位(R5)、31位(R6)						
[事業目的] 国際会議や全国的な会議・学会等の誘致拡大に向けて、誘致活動の強化およびコンベンション主催者への支援等に取り組み、県内全域でコンベンション振興を図る。												
[事業内容] (1)コンベンション開催助成金 補助上限 国内:9,000千円 国外:3,000千円 ※上記補助金額に加えて、現地参加者が1,000人以上の場合「大規模コンベンション加算」最大100万円(段階式助成)を上乗せ (2)コンベンション誘致・活用推進 ・コンベンション誘致職員の配置 ・営業活動 ・広報宣伝 ・MICE誘致のためのイベント出展 等												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 事業所数:4,657(R3経済センサス)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

# コンベンション誘致促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄		
事業主体	(公社)福井県観光連盟					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助金												
補助率	10/10												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	56,568				56,568								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		29,248	36,938	35,579	52,441	56,568	・広域エクスカーション誘致の増加 ・ファムツアーの増加						
2月現計予算額の推移		7,107	19,856	33,132	51,741								
決算額の推移		5,888	17,912	29,552									
前年度までの 主な増減理由		・コンベンション申請数の増減											
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	コンベンション参加人数 (目標) (20,000) 実績 1,940	(20,000)	(20,000)	(20,000)	(20,000)	(20,000)	(30,000)	(40,000)	コンベンション統計(会議大会)				
活動指標	コンベンション開催件数 (目標) (30) 実績 11	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	コンベンション統計(会議大会)				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
・北陸新幹線福井・敦賀開業に絡めた全国的な会議が福井県で開催されたため、開催件数が増加				・広域エクスカーション誘致の増加 ・ファムツアーの増加				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他	見直し額		

## 観光商談会開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	(公社)福井県観光連盟				事務 区 分	■ 自 治 事 務  □ 法 定 受 託 事 務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 9 北陸新幹線効果を最大化・持続化 ]				関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題]  北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道開通を契機に、地域やターゲット に応じた誘客戦略を推進し、さらなる観光客の誘致拡大を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ]  福井県観光客入込数 令和5年:17,598千人(令和7年目標:20,000千人)						
[事業目的]  首都圏、関西・中京圏において、県内の観光産業関連事業者と現地の旅行会社のキーマンと商談する機会を提供する。												
[事業内容] ○県内の観光産業関連事業者が、現地の旅行会社のキーマンと商談する機会を設定し、本県観光に関する説明(プレゼンテーション) および観光産業関連事業者による個別具体的な商談を実施  【実施方法】対面方式 開催場所:東京(上期・下期)、大阪、名古屋												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 事業所数:4,657(R3経済センサス)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						



# 北陸三県連携誘客促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄		
事業主体	北陸三県連携観光誘客協議会					事務 区 分	■ 自 治 事 務  □ 法 定 受 託 事 務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	負担金												
補助率	-												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 9 北陸新幹線効果を最大化・持続化 ]					関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]							
北陸新幹線福井・敦賀開業効果を持続化・最大化するため、北陸3県が連携して首都圏からの誘客を促進する必要がある。						令和5年 福井県観光客入込数 17,598千人							
[事業目的]													
北陸三県が連携した観光PRのため、「北陸」をテーマに首都圏、関西圏および中京圏等のメディアへ共同プロモーションを実施する。													
[事業内容]													
<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏等において、マスメディアを招待したメディア交流会を開催し、北陸の観光素材や魅力をPR</li> <li>・メディアへの共同訪問、三県の旬な取材候補地、観光素材のリストを作成し、提供</li> <li>・北陸3県の相互誘客を図るため三県観光案内所等の合同勉強会を実施</li> </ul>													
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 4,657事業所(R3 経済センサスー活動調査)							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況						他県の状況							

## 北陸三県連携誘客促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄		
事業主体	北陸三県連携観光誘客協議会					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	負担金												
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	7,000				7,000								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			17,000	17,000	17,000	7,000	・県外企業が実施する観光キャンペーンの招致が終了するため予算額減少						
2月現計予算額の推移			17,000	17,000	17,000								
決算額の推移			17,000	17,000									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年) (目標) 実績	12,356	15,191	17,598	(20,000)	(20,000)		(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26～R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6) 令和7年目標値 新観光ビジョンの目標値による				
活動指標	メディア交流会開催件数 (目標) 実績		(3) 3	(3) 3	(3) 4	(3)			首都圏等において、マスメディアを招待したメディア交流会を開催し、北陸の観光素材や魅力をPR				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
・JTBのキャンペーンを誘致				・県外企業が実施する観光キャンペーンの招致が終了するため予算額減少				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## 福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会負担金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会				事務 区 分	■ 自 治 事 務  □ 法 定 受 託 事 務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 9 北陸新幹線効果を最大化・持続化 ]				関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題] 日本遺産や鉄道遺産などに認定された観光資源等を本県の観光誘客に活用するため、福井県、滋賀県、京都府が広域的に連携して観光ルートの開発など実施する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和5年 福井県観光客入込数 17,598千人						
[事業目的] 舞鶴若狭自動車道(若狭さとうみハイウェイ)、京都縦貫自動車道の全線開通による新たな高速交通ネットワークを活かし、日本遺産や鉄道遺産、海湖と森の雄大な自然資産に美味しい食などの魅力を加えた新たな広域観光誘客を、福井県、滋賀県、京都府で連携して促進する。												
[事業内容] ○福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会(3府県)による観光誘客 日本遺産・鉄道遺産・歴史・自然遺産活用 ・新たな周遊モデルルートの開発(三府県をめぐる旅行を提案するパンフレットを作成、刷新) ・NEXCO西日本、NEXCO中日本と連携した周遊促進企画「京都・若狭路・びわ湖・はりま路ぐるっとドライブパス」の実施 ・「京都・若狭路・びわ湖・はりま路ぐるっとドライブパス」利用促進のための広報												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 4,657事業所(R3 経済センサスー活動調査)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会負担金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄		
事業主体	福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	負担金												
補助率	定額												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	800				800								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		1,000	1,000	800	800	800							
2月現計予算額の推移			800	800	800								
決算額の推移			800	800									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年) (目標) 実績	12,356	15,191	17,598	(20,000)	(20,000)		(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26～R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6) 令和7年目標値 新観光ビジョンの目標値による				
活動指標	三府県共同営業回数 (目標) 実績	(4) 4	(4) 4	(4) 4	(4) 4	(4)							
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
・京都・若狭路・びわ湖・はりま路ぐるっとドライブパス2023 チラシ、ポスター作成 ・鉄道旅マップ 24,000部作成(3府県×8,000部)								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## シニア女性に向けたPR促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 9 北陸新幹線効果を最大化・持続化 ]				関連する県の計画等	[ ふくい観光ビジョン ]						
[解決すべき問題・課題] R6「地域ブランド調査」による本県の魅力度は全国31位と下位に位置している。そのため、人気メディアとタイアップし、本県の魅力ある情報を発信していく必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 全国魅力度ランキング(福井県の順位) 38位(R5)、31位(R6)						
[事業目的] 富裕層のシニア女性から圧倒的支持を得ている生活情報誌とタイアップし、本県観光情報の発信等を行い、認知度向上と本県への誘客を促進する。												
[事業内容] (1)誌面広告を作成。 ・生活情報誌の読者と編集部がモニターツアーを開催し、同世代目線での福井県の観光ポイントを紹介する誌面広告(3ページ)の作成  (2)オリジナルツアー造成・集客を実施。 ・福井県在住読者とツアー参加者が現地で触れ合うような仕組みや、在住読者がお勧めする場所を工程に盛り込むなど、唯一無二の旅行商品を造成・集客												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4,657事業所(R3 経済センサスー活動調査)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 北陸新幹線開業に向けた魅力発信・認知度向上事業 (実績) ・シニア女性に向けた本県観光情報の発信					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## シニア女性に向けたPR促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	
事業実施方法	委託							□ 補助金				R9 年度
補助率	-							□ その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	10,357				10,357							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移						4,840	10,357	・オリジナルツアーの造成等による増額				
2月現計予算額の推移						4,840						
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	12,356	15,191	17,598	(20,000)	(20,000)		(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26～R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6) 令和7年目標値 新観光ビジョンの目標値による		
活動指標	広告掲載回数	(目標) 実績				(1) 1	(1)			R6福井県講座開催回数 R7～広告掲載回数		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
生活情報誌「ハルメク」に福井県特集記事の掲載 ・掲載号8月10号 A4・2ページ イベントの開催 ・R6.9.20(金)にふくい南青山291にて「福井県講座」を開催 ・オンラインでの参加者を含む240人が参加 (リアル40人、オンライン200人)				・オリジナルツアーの造成等による増額				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## SNSを活用した福井ファン拡大事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	山田 輝雄
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟				事務 区 分	■ 自 治 事 務  □ 法 定 受 託 事 務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開 始 年 度	R1 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	委託、補助金											
補助率	-、10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 9 北陸新幹線効果を最大化・持続化 ]				関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題] 本県宿泊旅行者全体に占める若年女性(18~39歳)の割合(13.9%)は全国平均(18.0%)よりも低く、若年女性への訴求力の弱さが課題である。Instagram上の「#福井観光」「#福井女子旅」など旅を想起させる投稿件数が他県よりも少ない現状にある。						[問題・課題を表す客観的データ] ・Instagram上の「#〇〇観光」「#〇〇女子旅」投稿件数 #富山観光 177,000件 #富山女子旅 364件 #金沢観光 312,000件 #金沢女子旅 19,000件 #福井観光 180,000件 #福井女子旅 7,351件						
[事業目的] 新幹線開業による誘客効果を県内隅々まで波及させるため、SNSや女性向けサイト等で本県の魅力ある観光情報を発信し、認知度向上と本県への誘客を促進する。												
[事業内容] (1)縦型ショート動画での情報発信事業 ・観光コンテンツを活用した縦型ショート動画の制作 10本  (2)インスタグラマーを活用した情報発信事業 ・「福井女子部」の運営 ・インスタグラマーによるインスタ映えスポットの取材・発信 ・福井県民自らによるインスタ映えスポットの取材・発信  (3)女性向け旅サイトを活用した情報発信事業 ・TOPページ制作 ・インスタマガジン制作 8本 ・インスタマガジン特集ページ制作												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4,657事業所(R3 経済センサスー活動調査)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

# SNSを活用した福井ファン拡大事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	委託、補助金											
補助率	-、10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	12,342					12,342						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		17,252	14,977	15,013	14,847	12,342	・令和7年度は、縦型ショート動画の作成 ・福井県民自らが発信するためのワークショップの開催 ・インスタマガジンの作成が加わったため事業費が増加					
2月現計予算額の推移		17,252	14,977	15,013	14,847							
決算額の推移		8,296	15,349	14,991								
前年度までの 主な増減理由		令和2年度は特設サイトの開設、小冊子の制作を実施したため事業費が増加した。 令和3年度はインスタ映えスポット造成、インスタグラムフォトコンテスト事業が加わったため、事業費が増加した。										
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	Instagram「#福井女子旅」総投稿数	(2,000)	(4,000)	(6,000)	(7,000)	(8,000)						
	実績	3,143	4,852	6,095	7,351							
活動指標	縦型ショート動画投稿数					(10)						
	実績											
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・インスタフォトコンテストの実施 ・福井県へのInstagramマー派遣による観光情報のSNS発信 ・福井県情報のインターネット記事掲載・配信 等				・インスタフォトコンテストが終了 ・ワークショップの実施 ・縦型ショート動画の作成				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

## 福井の旬の魅力発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自 治 事 務  □ 法 定 受 託 事 務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政 策 [ 9 北陸新幹線効果を最大化・持続化 ]				関連する県の計画等	[ ふくい観光ビジョン ]						
[解決すべき問題・課題] R6「地域ブランド調査」による本県の魅力度は全国31位と下位に位置している。 そのため、大手旅行予約サイト等と連携し、本県の魅力ある情報を発信していく必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 全国魅力度ランキング(福井県の順位) 38位(R5)、31位(R6)						
[事業目的] 大手旅行予約サイト等と連携し、本県の魅力ある観光情報の発信や民宿等の宿泊プランの造成を行い、本県への誘客拡大を図る。												
[事業内容] ○旅行予約サイト(じゃらんnet)を活用したプロモーション事業 ・サイト内の行政情報ページにバナーを掲載し、本県の観光やグルメ、体験アクティビティ等の魅力を紹介するページへ誘導 ・サイト会員の中から、属性(性別、年齢)や過去1年間の予約実績等によりターゲットを絞り込み、ターゲティングメルマガ・ターゲティング広告を配信 ・サイトが持つウェブメディア(じゃらんニュース)に広告を掲載し、PR												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4,657事業所(R3 経済センサスー活動調査)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 福井の旬の魅力発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	
事業実施方法	委託							□ 補助金				
補助率	-							□ その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	10,934				10,934							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移					17,753	11,000	10,934	ウェブメディアへの露出増加、位置情報データの分析・活用				
2月現計予算額の推移					17,753	11,000						
決算額の推移					17,749							
前年度までの 主な増減理由		・福井県紹介ページの掲載先を一部変更したことによる減額										
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	12,356	15,191	17,598	(20,000)	(20,000)		(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26～R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6) 令和7年目標値 新観光ビジョンの目標値による		
活動指標	サイトへの掲載回数	(目標) 実績			(4) 7	(5) 5	(5)					
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価			
大手旅行予約サイトじゃらんnet内に本県の観光やグルメ、体験アクティビティ等の魅力を紹介するページを制作、旅行予約サイトの行政情報ページにバナーを掲載し、本県を紹介するページへ誘導					・ウェブメディアへの露出増加 ・位置情報データの分析・活用				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
									<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 関西圏おける観光・物産PR拠点設置・運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営、委託、負担金、											
補助率	－											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 9 北陸新幹線効果を最大化・持続化 ]					関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]				
[解決すべき問題・課題] 大阪・関西万博(R7)やワールドマスターズゲームズ(R9)など世界的イベントを契機に、大阪を訪れるインバウンドや関西在住の観光客をターゲットにした観光・物産のPRを行う。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県の訪日外国人宿泊者数の状況(観光庁 宿泊旅行統計調査) R5:64,900人、R4:12,460人、R3:9,370人、R2:23,080人、R1:97,730人						
[事業目的] JR大阪駅直結の商業施設「KITTE大阪」内に北陸三県共同で情報発信拠点「HOKURIKU+(ホクリクプラス)」を設置し、関西圏からの誘客を促進する。												
[事業内容] ○場 所 :HOKURIKU+(KITTE大阪2階(大阪市北区梅田3丁目)) ○拠点機能 (1)情報発信 ・観光コンシェルジュ配置(スタッフ 出面1~2人体制) ・スタンディングバー(旬の食材や地酒を提供1~2人体制) ・パンフレット配架、デジタルサイネージ、イベントスペースの活用 など (2)各県の特産品販売 ○運営方法 (1)賃貸借 :北陸3県で賃貸借契約を締結(R6.3月) (2)店舗運営 :北陸三県から成る運営協議会より運営事業者(ジェック経営コンサルタント株)に委託 ○協議会負担金について (1)店舗運営委託費ほか(経常経費) ○PRツール制作 (1)物販店頭箇所において本県の魅力を発信するオブジェの制作 (2)本県の物販エリアの縦サイネージにてお土産等のおすすめ商品を発信するPR動画の制作 (3)万博会場で行う本県のPRイベントと連携した店内での誘客イベントの実施												
[受益者] 店舗来店者						[想定される受益者数] 1,200千人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担) (石川県、富山県との状況) R6.7.31 富山・石川・福井情報発信拠点「HOKURIKU+」開業 R6.7.31~ 三県共通テーマのイベントおよび 週代わりで各県のPRイベントを実施					
市町との連携状況						他県の状況						

## 関西圏における観光・物産PR拠点設置・運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄							
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度						
事業実施方法	直営、委託、負担金、																	
補助率	-																	
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等											
予算額	41,059					41,059												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>																		
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由											
当初予算額の推移				47,000	53,000	41,059	(事業進捗に伴う金額内訳の変更に伴う減) 使用料および賃借料 12,000千円、負担金 25,000千円、委託料4,818千円 ※主な要因:開業プロモーション費 ▲19,000千円 ※R6 53,000千円(使用料および賃借料 11,000千円、負担金 42,000千円)											
2月現計予算額の推移				47,924	50,700													
決算額の推移				47,924														
前年度までの 主な増減理由	R6年度との増減理由 ・開業プロモーション費 ▲19,000千円 ・家賃 +3,000千円(家賃発生期間の変更:R6.7.31(開業日)~R7.3.31 ⇒ R7.4.1~R8.3.31) ※R5 47,000千円(テナント工事費)																	
[成果指標等の推移]																		
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	来店者数(人) (目標) 実績				(800,000)	(1,200,000)			毎月100千人×12か月=1,200千人									
活動指標	イベントの実施(回数) (目標) 実績				(8)	(12)	(12)	(12)	毎月1回×12回									
[事業の評価]																		
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価										
来店者数 月平均 約170千人(1日あたり平均 5,682人) ※R7.1.31現在(期間:R6.7.31(開業日)~R7.1.31)				・意欲ある市町と連携し、本県への誘客PRイベントを開催 ・大阪・関西万博を契機とした店舗への誘客				<input type="checkbox"/> 拡充  <input type="checkbox"/> 継続  <input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減  <input type="checkbox"/> 休止  <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の見直し  <input type="checkbox"/> 完了  <input type="checkbox"/> その他	見直し額   11,941							

## 中部縦貫自動車道開通スタートアップ事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	山田 輝雄
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟				事務 区 分	■ 自 治 事 務  □ 法 定 受 託 事 務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開 始 年 度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営、補助金											
補助率	1/2、10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 9 北陸新幹線効果を最大化・持続化 ]				関連する県の計画等		[ ふくい観光ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
中部縦貫自動車道県内全線開通に向けて機運醸成を図るため、県と市が連携し、開通前後のイベントを計画的に開催し、開通時の最大化を図る必要がある。						開通による中京圏からの自動車による往来 3.5倍、約10,000～13,000人/日増加						
[事業目的]												
中部縦貫自動車道県内全線開通に向け、沿道4市町が中京圏や県内で実施する誘客イベントへの支援や連絡会議等の実施により、開通時の効果の最大化を図る。												
[事業内容]												
(1) イベント実施の支援 補助対象者 中部縦貫自動車道沿道4市町 補助対象事業 補助対象者が中京圏や県内で実施する誘客に資するイベント等 補助率等 1/2(補助上限: イベント開催2,500千円)												
(2) 市町と旅行会社の情報交換会の実施												
(3) 沿道市町と連絡会議の開催												
[受益者] 企業、団体、県民						[想定される受益者数] 約74万人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 北陸新幹線開業スタートアップ事業 (実績) ・令和7年3月に新幹線駅設置4市にて、開業1年前イベントを実施 ・その他、機会を捉えて(北陸DCなど)開業イベントを開催 ・市町や旅行会社等による情報交換会や商談会の実施 ・市町や観光協会等と北陸DCに向けた連絡会議を開催					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・中部縦貫自動車道沿道4市町に対してイベント経費の補助を実施 ・市町や旅行会社等による情報交換会や商談会の実施 ・沿道市町と連絡会議を開催					他県の状況						

## 中部縦貫自動車道開通スタートアップ事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営、補助金											
補助率	1/2、10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	10,927	5,463			5,464	新しい地方経済・生活環境創生交付金第2世代交付金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移							10,927					
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	12,356	15,191	17,598	(20,000)	(20,000)		(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26～R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6) 令和7年目標値 新観光ビジョンの目標値による		
活動指標	イベント開催回数	(目標) 実績					4回			各市で1回ずつ開催		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

# キャッチコピー・ロゴマークのリニューアル事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 9 北陸新幹線効果を最大化・持続化 ]				関連する県の計画等	[ ふくい観光ビジョン ]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
北陸新幹線開業を機に本県のブランドイメージを再構築し、県内外へ効果的に発信する必要がある。						北陸新幹線開業に向け制作したキャッチコピーとロゴマークは、県や市町が誘客活動で使うポスター、法被、のぼりなどのツールに活用しているほか、名刺や商品パッケージ、グッズなど177件(R6.9.27現在)の民間活用がされている。						
[事業目的]												
北陸新幹線開業により認知された本県の魅力を効果的に発信するため、新たなキャッチコピーとロゴマークを制作する。												
[事業内容]												
(1)キャッチコピー・ロゴマークの募集 ・公募コンテストを活用し、クリエイターやプランナーのプロを巻き込み、質の高い作品の募集・選出 ※参考事例: 宣伝会議(株)が企画。農林水産広告賞、文化財保護強調週間(文化庁)、日本郵便の全日本DM大賞 ほか多数 ※応募作品だけでなく、プロのクリエイターが審査を行うことにより「質」の高さを担保 (2)告知方法 ・広告、クリエイティブ業務の専門誌に記事広告を掲載し、専門家に参加を告知 ・HPでの告知掲出および募集ウェブサイトの制作、県内の新聞広告掲載 ・広告会社、制作会社、大学などへDM送付 (3)審査の流れ ・キャッチコピーを募集、審査・県民投票を経て決定後、キャッチコピーを基にロゴマークを募集、審査・県民投票を経て決定 (4)想定事業期間(約32週間、9月～3月(約7か月)) ・キャッチコピー募集(6週間)～審査(4週間)～県民投票(4週間)～決定(2週間)～ ロゴマーク募集(6週間)～審査(4週間)～県民投票(4週間)～決定(2週間) ※発表は「新たな観光ビジョン(仮称)」の策定・発表時期に近い3月頃を想定 (5)県庁舎のロゴマーク剥離 ・新たなロゴマークの決定に伴い、県庁ロビーに設置中のロゴマークを剥離する。												
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約74万人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 北陸新幹線開業PRキャッチコピー・ロゴマークの制作活用事業 (実績) 県や市町が誘客活動で使うポスター、法被、のぼりなどのツールに活用しているほか、名刺や商品パッケージ、グッズなど177件(R6.9.27現在)の民間活用がされている。					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## キャッチコピー・ロゴマークのリニューアル事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	15,688	7,844			7,844	新しい地方経済・生活環境創生交付金第2世代交付金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移							15,688					
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	キャッチコピー・ロゴマーク (目標) の完成 実績						(2)	(2)	(2)	キャッチコピー、ロゴマーク 完成数(それぞれ1つ)		
活動指標	公募数 (目標) 実績						(2,000)			キャッチコピー、ロゴマーク 応募総計 2,000(各1,000×2)		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価						実績を踏まえた令和7年度の変更点			事業評価			
									<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## メディアとの連携による食の魅力発信・誘客拡大事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 9 北陸新幹線効果を最大化・持続化 ]				関連する県の計画等	[ ふくい観光ビジョン ]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
北陸新幹線福井・敦賀開業の誘客効果を県内全域に波及および持続させる必要がある。						地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 全国魅力度ランキング(福井県の順位) 38位(R5)、31位(R6)						
[事業目的]												
テレビ番組とタイアップし、海産物を中心とする本県の食の魅力と観光情報等をあわせて発信し、本県への誘客拡大を図る。												
[事業内容]												
(1)番組ディレクターが福井県の海産物を中心とする旬の食材を発掘 (2)北陸新幹線沿線の内陸都市において当該海産物をメインとした「ミニ物産展」を開催 (3)食材発掘と各都市での物産展の様子とともに、本県の食材や観光情報等を特番で放送 (4)フードフェスを開催												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4,657事業所(R3 経済センサスー活動調査)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## メディアとの連携による食の魅力発信・誘客拡大事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	36,000	18,000			18,000	新しい地方経済・生活環境創生交付金第2世代交付金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移							36,000					
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	12,356	15,191	17,598	(20,000)	(20,000)		(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26～R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6) 令和7年目標値 新観光ビジョンの目標値による		
活動指標	イベント開催回数	(目標) 実績					(4)			北陸新幹線沿線の内陸都市で1回ずつ開催		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価						実績を踏まえた令和7年度の変更点			事業評価			
									<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

# 大阪・関西万博ふくいPRステージ開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 9 北陸新幹線効果を最大化・持続化 ]				関連する県の計画等	[ ふくい観光ビジョン ]						
[解決すべき問題・課題] R6「地域ブランド調査」による本県の魅力度は全国31位と下位に位置している。そのため、大手旅行予約サイト等と連携し、本県の魅力ある情報を発信していく必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 全国魅力度ランキング(福井県の順位) 38位(R5)、31位(R6)						
[事業目的] 大阪・関西万博において、福井ならではのエンターテインメントを活用したPRステージ等を開催し、本県の認知度向上と誘客拡大を図る。												
[事業内容] ○大阪・関西万博における福井県のPRステージ開催 [時期]令和7年7月16日(水) [場所]EXPOホール「シャインハット」 [想定内容] (1)ステージショー ・ディノ・ア・ライブ(超リアル恐竜ライブショー) ・JETSによるチアダンス など (2)展示 ・本県伝統工芸品等の展示												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4,657事業所(R3 経済センサスー活動調査)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

# 大阪・関西万博ふくいPRステージ開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	委託			経過年数								2 年		
補助率	-													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	55,000				55,000									
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>														
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移							55,000	令和6年度に債務負担行為設定						
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	12,356	15,191	17,598	(20,000)	(20,000)		(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26～R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6) 令和7年目標値 新観光ビジョンの目標値による				
活動指標	PRステージ来場者数(人)	(目標) 実績					(3,000)			ステージ1回当たりの来場者数目標1,000人(3回実施)				
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

# 北陸デスティネーションキャンペーン誘客拡大事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託、負担金											
補助率	－											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 北陸新幹線開業効果を最大化 ]				関連する県の計画等	[ FIRST291～北陸新幹線開業プラン～ ]						
[解決すべき問題・課題] R5「地域ブランド調査」による本県の認知度は全国39位と下位に位置している。北陸新幹線開業に向け、本県情報の露出拡大を図ることで認知度、魅力度を向上させ誘客促進に繋げる。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 福井県の認知度全国順位 39位(R5)						
[事業目的] 令和6年秋に開催される「北陸デスティネーションキャンペーン(DC)」において、JRグループ6社と北陸三県(富山県、石川県、福井県)の観光事業者、行政が一体となって、北陸への誘客拡大を図る。												
[事業内容] (1)北陸DC推進(実行委員会負担金) R6.10～12に開催される北陸DCにおいて、石川・富山と共同でPRを実施  (2)北陸DC石川県オープニングセレモニーにおけるPR ・北陸DCの開始にあたり、石川県で行われるオープニングにおいて福井県のPRを実施  (3)北陸DC福井県オープニングセレモニー ・北陸DCの開始にあたり、福井駅でオープニングセレモニーを開催し、県内外にキャンペーン開始をPR  (4)北陸アフターDCに向けた観光素材発信事業 ・全国宣伝販売促進会議用に制作した福井県観光素材集について、素材の見直し、リバイスを実施し、アフターDC後も継続的な誘客の促進												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4,657事業所(R3経済センサスー活動調査)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

# 北陸デスティネーションキャンペーン誘客拡大事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)		
事業実施方法	委託、負担金							□ 補助金					
補助率	-							□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額													
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					32,259	33,672							
2月現計予算額の推移					32,259	33,672							
決算額の推移					32,191								
前年度までの 主な増減理由	・北陸DC実行委員会負担金の増額												
[成果指標等の推移]													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	12,356	15,191	17,598	(20,000)			(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2~R6)			
活動指標	DC関連イベント実施回数	(目標) 実績			(850) 762	(2) 2				R5:全国宣伝販売促進会議参加者数 R6:DC関連イベント開催回数			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・北陸DCオープニングイベント(10/5・6、来場者20,000人) 北陸3県の祭りや伝統工芸のステージのほか、食や伝統工芸など、北陸の魅力が一堂に会したイベントを加賀温泉駅前にて実施 ・北陸グルメイベント(11/3・4、来場者32,000人) 北陸3県の地酒呑み比べコーナーや人気の大衆グルメコーナーなど、北陸の食文化を一度に楽しめるイベントを氷見市芸術文化館にて実施									<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	33,672	
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 「鉄道観光」推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 北陸新幹線開業効果を最大化 ]				関連する県の計画等	[ FIRST291～北陸新幹線開業プラン～ ]						
[解決すべき問題・課題] R5「地域ブランド調査」による本県の認知度は全国39位と下位に位置している。北陸新幹線開業に向け、本県情報の露出拡大を図ることで認知度、魅力度を向上させ誘客促進に繋げる。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 福井県の認知度全国順位 39位(R5)						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、ライトな層も含め全国に150～200万人存在するとされる鉄道ファンを対象に特別企画を実施し、同層の本県への誘客拡大と市場の取り込みを図る。												
[事業内容] ○鉄道旅行誌「旅と鉄道」とのタイアップ事業 ・福井県での鉄道旅を紹介する5万部、96ページの増刊号を発刊 ・抜き刷り小冊子(16P、1万5千部)を作成												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4,657事業所(R3経済センサスー活動調査)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 「鉄道観光」推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業	課長名	山田 輝雄		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託												
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額													
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					7,205	6,309							
2月現計予算額の推移					7,205	6,309							
決算額の推移					7,205								
前年度までの 主な増減理由	・恐竜駅弁タイアップ事業の終了のため減額												
[成果指標等の推移]													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	12,356	15,191	17,598	(20,000)			(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2~R6)			
活動指標	「旅と鉄道」増刊号 発行部数(公称)	(目標) 実績			(50,000) 50,000	(50,000) 50,000				R5:福井県版時刻表を5万部発行			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
「旅と鉄道」増刊号を50,000部(公称)発行し販売。								<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他	見直し額		
												6,309	

## 人気アニメタイアップ事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 北陸新幹線開業効果を最大化 ]				関連する県の計画等	[ FIRST291～北陸新幹線開業プラン～ ]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
北陸新幹線福井・敦賀開業後の誘客効果を最大化させる必要がある。						福井県観光客入込数 令和4年度:15,191千人(令和6年目標:20,000千人)						
[事業目的]												
人気のアニメとタイアップしたPRを展開し、本県の知名度および開業の認知度向上を図り、新幹線県内開業効果を最高潮に高める。												
[事業内容]												
<p>人気アニメとタイアップして県内外に対する新幹線開業のPR、誘客・県内周遊を図る。</p> <p>(1)スタンプラリー実施 開業時にスマホをかざすとアニメのキャラクター等が浮かび上がるパネルを県内の観光施設に設置。 同時にスタンプとしてGETできるスタンプラリーとなる仕掛けを施すことで県内の広域周遊を促進。</p> <p>(2)CM放映 アニメ放送内において本県とタイアップしたCMを放映</p>												
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約74万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担) 事業名					
市町との連携状況						他県の状況						

# 人気アニメタイアップ事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移					46,318	33,017						
2月現計予算額の推移					46,318	33,017						
決算額の推移					46,264							
前年度までの 主な増減理由		・カウントダウンイベント実施事業の終了による減額										
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	12,356	15,191	17,598	(20,000)			(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2~R6)		
活動指標	コラボ件数	(目標) 実績			(2) 2	(2) 2						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・サザエさんのオープニング放送(春-初夏編4~6月、夏-初秋編7月~9月) ・シンカリオンデジタルスタンプラリー実施(第1弾4~7月、第2弾10~12月)								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	33,017	
								□ 整理統合	■ 廃止	□ その他		

## 新幹線開業記念将棋タイトル戦誘致事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	山田 輝雄
事業主体	県				事務 区 分	■ 自 治 事 務  □ 法 定 受 託 事 務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託			経過年数								
補助率	－			1 年								
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 北陸新幹線開業効果を最大化 ]				関連する県の計画等		[ FIRST291～北陸新幹線開業プラン～ ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
新幹線開業後の盛り上げるための盛り上げを継続させ、開業効果を一時的なもの としないようにする。						開業後期待される入込数:本県で78.5万人増加 (日本政策投資銀行における経済波及効果(R2.2)より)						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業を記念し、将棋タイトル戦の対局を本県へ誘致し、対局に合わせ福井の観光資源を活用したPRを実施することにより県内への誘客を促進し、 新幹線開業による全国からの本県への関心を持続させる。												
[事業内容] (1)将棋タイトル戦の誘致 ・将棋タイトル戦対局の県内開催を誘致  (2)朝倉象棋を活用した誘客プロモーションやイベント等の実施 ・対局誘致後、対局に合わせ県内の観光PR広告を掲載 ・プロ棋士との多面指し、朝倉象棋(しょうぎ)体験教室等を開催												
[受益者] 県内観光客、県民						[想定される受益者数] 県内観光客 15,191千人(R4年観光客入込数)、県民 752,976人(R4県内人口)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)					事業名		関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)			
市町との連携状況								他県の状況				

## 新幹線開業記念将棋タイトル戦誘致事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移						39,530						
2月現計予算額の推移						39,530						
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	12,356	15,191	17,598	(20,000)			(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26～R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6)		
活動指標	将棋タイトル戦機運醸成イ ベント参加人数 (人)	(目標) 実績				(1,100) 1,400				北陸新幹線開業PRキャラバン参加人数の中央値		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・読売新聞に広告記事掲載(令和6年5月31日、10月6日)</li> <li>・機運醸成イベント実施(令和6年8月31日)</li> <li>・対局者フォトセッションを実施(令和6年10月18日)</li> <li>・パブリックビューイングを実施(令和6年10月19日、20日)</li> </ul>								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	39,530	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 人気ゲームとコラボした福井の魅力発信事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 北陸新幹線開業効果を最大化 ]				関連する県の計画等	[ FIRST291～北陸新幹線開業プラン～ ]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
北陸新幹線福井・敦賀開業後の誘客効果を最大化させる必要がある。						福井県観光客入込数 令和4年度:15,191千人(令和6年目標:20,000千人)						
[事業目的] 全世界で人気のゲームとコラボし、県内の周遊を促すイベントの開催やSNSを活用した本県の観光情報発信を行うことで、北陸新幹線福井・敦賀開業後の県内への誘客促進を図る。												
[事業内容] ○人気ゲームとコラボしたイベントの開催や情報発信 (1)県内周遊イベントの実施 ・県内の新幹線駅や観光スポットなどを巡るフォトラリーの実施 ・ゲームとコラボしたオリジナルグッズの制作、イベント参加者への配布 ・ゲーム内に登場するキャラクター等のモニュメントの制作・設置 (2)ゲームとコラボした本県の魅力の発信 ・ゲームのキャラクターを使用して本県の魅力をゲーム公式SNS等で発信												
[受益者] 県内観光客、県民						[想定される受益者数] 県内観光客 15,191千人(R4年観光客入込数)、県民 752,976人(R4県内人口)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担) 事業名					
市町との連携状況						他県の状況						

# 人気ゲームとコラボした福井の魅力発信事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託							□ 補助金		経過年数		
補助率	-							□ その他		1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移						25,256						
2月現計予算額の推移						25,256						
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	12,356	15,191	17,598	(20,000)			(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2~R6)		
活動指標	イベント参加者数(人)	(目標) 実績				(10,000) 18,053				延べ数参加者数		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・大ヒットゲーム「モンスターハンター」シリーズとのコラボキャンペーンの実施(期間:R6.10.1~R6.12.31) ・県内を周遊するフォトラリークエストの開催(17市町参加、フォトスポット25か所) ・県内飲食店でのコラボメニュー制作(13店舗) ・越前和紙製のモンハンねぶた2基の制作・展示(ハピリン、オルパークにキャンペーン期間中展示)								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	25,256	
								□ 整理統合	■ 廃止	□ その他		

# 北陸新幹線開業キャラバン事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄								
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度							
事業実施方法	直営、委託																		
補助率	-																		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 北陸新幹線開業効果を最大化 ]					関連する県の計画等		[ FIRST291～北陸新幹線開業プラン～ ]											
[解決すべき問題・課題]  北陸新幹線福井・敦賀開業後の誘客効果を最大化させる必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ]  福井県観光客入込数 令和4年度:15,191千人(令和6年目標:20,000千人)													
[事業目的] 県民総参加のもと来県者を心のこもったおもてなしでお迎えするため、企業・団体等におもてなしの取組を宣言・実践いただき、おもてなし機運の醸成を図る。また、県内イベントに出展し開業をPRする広報キャラバンを結成するとともに、新幹線開業ウェルカムダンスを制作・各地で披露し、県内の盛り上げを図っていく。																			
[事業内容] (1)開業歓迎キャラバンの実施 (2)プラレールジオラマの展示																			
[受益者] 企業・団体、県民						[想定される受益者数] 約74万人													
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 北陸新幹線開業に向けたおもてなし機運醸成事業 事業名 大手玩具メーカーとコラボした全国発信・誘客事業 (実績) おもてなし宣言291参加件数 1,187企業・団体(34,030人) 開業ウェルカムダンス出前講座 122件(4,775人参加) 開業PRキャラバン 20日間 福井県の風景を再現したオリジナル大型ジオラマ製作 等					関連事業の有無・ 役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)												
市町との連携状況						他県の状況													

# 北陸新幹線開業キャラバン事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄				
事業主体		県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法		直営、委託					□ 法定受託事務			□ 補助金			経過年数		
補助率		-					□ その他			□ その他			5 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額															
[予算額の推移等]												(単位:千円)			
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					83,939	10,868									
2月現計予算額の推移					83,939	10,868									
決算額の推移					72,723										
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>・開業PRキャラバン等の経費削減</li> <li>・福井県の風景を再現したオリジナル大型ジオラマ製作の終了による減額</li> </ul>													
[成果指標等の推移]															
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	観光客入込数(千人)	(目標)				(20,000)			(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2~R6)					
	(※暦年)	実績	12,356	15,191	17,598										
活動指標	プラレールジオラマ展示実	(目標)	(20)	(40)	(100)	(8)				R6~:県内で実施するプラレールジオラマ展示実施日数 R5:県内で実施した開業PRキャラバンの実施日数					
	施日数(日)	実績	25	87	351	38									
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸新幹線開業記念イベント 福井県プラレールジオラマ巡回展示 4回実施</li> <li>・ブース出展 4回実施</li> <li>・北陸新幹線開業PRツール貸出 22件実施</li> <li>・着ぐるみはぴりゅう10回運用</li> </ul>								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額				
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	10,868				
								□ 整理統合	■ 廃止	□ その他					

## 人気テレビコンテンツを活用した福井の魅力全国発信事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 北陸新幹線開業効果を最大化 ]				関連する県の計画等	[ FIRST291～北陸新幹線開業プラン～ ]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
100年に一度の新幹線開業を迎えるにあたり、県内および首都圏などに向け、開業機運を盛り上げ、認知度および魅力向上を図ること。						「令和4年 福井県観光客入込数」によると、県外来県者6,246千人(実人数)のうち、県内宿泊者数は4,377千人(実人数)						
[事業目的]												
令和6年1月～2月に、全国で話題のグルメドラマ「居酒屋新幹線」で本県を舞台にした「福井編」「敦賀編」を2週にわたって開業直前に放送した。その放送後の影響を活用し、北陸デスティネーションキャンペーンまで、全国1位の評価を受けた食の魅力在全国に発信することにより、開業後の誘客を図る。												
[事業内容]												
○ドラマ「居酒屋新幹線」とのコラボPRキャラバン ・令和6年1月～2月に放送したドラマ「居酒屋新幹線」の「福井編」「敦賀編」で取り上げられたグルメをPRするコラボPRキャラバンを首都圏エリア(東京駅、大宮駅、長野駅、高崎駅等)で実施 ・PRキャラバン内容:①ドラマのキービジュアルを活用したパネル設置 ②ドラマ内で紹介されたグルメの販売 ③ドラマ内で紹介された店舗、商品、観光スポットを紹介するフライヤーの配布												
[受益者] 本県への来訪者						[想定される受益者数] 15,191千人(R4年観光客入込数)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)					事業名					<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (役割分担)	
						事業名 北陸新幹線福井・敦賀開業首都圏プロモーション事業 県外で実施する出向宣伝に合わせて居酒屋新幹線PRキャラバンを実施することにより、相乗効果で本県への関心度を高めるほか、会場費等を削減						
市町との連携状況						他県の状況						

# 人気テレビコンテンツを活用した福井の魅力全国発信事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	委託							□ 補助金					□ その他
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額													
[予算額の推移等]												(単位:千円)	
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					7,744	2,500							
2月現計予算額の推移					7,744	2,500							
決算額の推移					7,724								
前年度までの 主な増減理由		・PRグッズ・HP制作費にかかる経費削減											
[成果指標等の推移]													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	12,356	15,191	17,598	(20,000)			(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26～R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6)			
活動指標	イベント実施回数	(目標) 実績			(3) 3	(3) 3							
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
・東京駅出向宣伝(9/25～9/29) ・大宮駅出向宣伝(11/16～11/17) ・福井アンテナショップ「ふくい食の國291」(12/18～12/22)								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	2,500		
								□ 整理統合	■ 廃止	□ その他			

# 北陸新幹線開業アイデアコンテスト実行支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	市町、民間団体またはグループ				事務 区 分	■ 自 治 事 務  □ 法 定 受 託 事 務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助金											
補助率	市町1/2、民間団体またはグループ2/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 北陸新幹線開業効果を最大化 ]				関連する県の計画等		[ FIRST291～北陸新幹線開業プラン～ ]					
[解決すべき問題・課題] 新幹線開業に向け、県内の開業機運の盛り上がりや、観光コンテンツの造成、プレイヤーの育成等により、観光誘客の最大化を図るため、市町・民間の取組みを継続して支援する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 令和4年度:15,191千人(令和6年目標:20,000千人)						
[事業目的] 全国から募集した新幹線開業効果を高める優れたプロジェクトのアイデアやプランの実行を支援することにより、県内外での新幹線開業に向けた機運醸成を図る。												
[事業内容] (1)優れたアイデアの実行支援 優れたアイデアの実行に取り組む市町を支援する。 実施主体 市町 補助率 1/2 補助上限額 5,000千円/年・市町  (2)優れたプランの実行支援 優れたプランの実行に取り組む民間団体やグループ(以下、「事業者」)を支援する。 実施主体 福井県内の事業者 補助率 2/3 補助上限額 5,000千円/年・事業者												
[受益者] 県内観光客、各団体が実施するイベントの参加者						[想定される受益者数] 15,191千人(R4年観光客入込数)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況					他県の状況	【石川県】R4当初予算 ・民間主体の先導的な取組に対する支援 59,000千円						

## 北陸新幹線開業アイデアコンテスト実行支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄			
事業主体		市町、民間団体またはグループ				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法		補助金												
補助率		市町1/2、民間団体またはグループ2/3												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額														
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>														
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			61,107	57,780	60,338	50,599								
2月現計予算額の推移			36,396	50,750	49,665	39,183								
決算額の推移			35,269	48,387	48,802									
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間団体補助件数の減(R5 14件 → R6 13件)</li> <li>・ご当地コレクションカードによる誘客・周遊促進事業完了による減</li> <li>・アイデアコンテストに係る補助を要する市町・民間団体の数および事業費の減により減</li> </ul>												
[成果指標等の推移]														
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績				(20,000)			(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26～R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6)				
活動指標	補助件数	(目標) 実績	(23) 20	(23) 22	(22) 17	(23) 16								
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者への補助件数 14団体</li> <li>・市町への補助件数2市町</li> </ul>								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	50,599			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 北陸新幹線開業スタートアップ事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体		県、(公社)福井県観光連盟			事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助金											
補助率	1/2、10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 北陸新幹線開業効果を最大化 ]			関連する県の計画等		[ FIRST291～北陸新幹線開業プラン～ ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
北陸新幹線福井・敦賀開業後の誘客効果を最大化させる必要がある。						福井県観光客入込数 令和4年度:15,191千人(令和6年目標:20,000千人)						
[事業目的]												
新幹線駅設置市が行うディスティネーションキャンペーン開催期間のイベント、開業1周年イベントへの支援等により開業効果の最大化を図る。												
[事業内容]												
(1)開業イベント実施の支援 補助対象者 新幹線駅の設置市が中心となって周辺市町などと構成する実行委員会等 補助対象事業 補助対象者が開催するディスティネーションキャンペーン開催期間のイベント、開業1周年の歓迎イベント等 ただし、開業1周年(土日の計2日を想定)の歓迎イベントは必須開催とする 補助率等 1/2(補助上限:イベント開催10,000千円) (2)市町と旅行会社の情報交換会の実施 (3)北陸新幹線開業プラン推進会議の開催												
[受益者] 企業、団体、県民						[想定される受益者数] 約74万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・北陸新幹線開業連絡会議を開催					他県の状況						

# 北陸新幹線開業スタートアップ事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄				
事業主体		県、(公社)福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法		直営、補助金					□ 法定受託事務			■ 補助金					
補助率		1/2、10/10					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額															
[予算額の推移等]												(単位:千円)			
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移			23,074	22,474	52,206	21,859									
2月現計予算額の推移			21,831	21,775	48,506	21,859									
決算額の推移			737	13,967	47,031										
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸新幹線福井・敦賀開業による開業イベント実施支援額の減額</li> <li>・北陸新幹線福井・敦賀開業カウントダウンボード、北陸新幹線福井・敦賀開業日PRポスターの制作完了に伴う減額</li> </ul>													
[成果指標等の推移]															
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	12,356	15,191	17,598	(20,000)			(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26～R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6)					
活動指標	4市でのイベント開催数	(目標) 実績	(4) 4	(8) 8	(8) 15	(8) 14									
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年3月に新幹線駅設置4市にて、開業1年前イベントを実施</li> <li>・その他、機会を捉えて(北陸DCなど)開業イベントを開催</li> </ul>								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額				
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	21,859				
								□ 整理統合	■ 廃止	□ その他					